

ファイナルレポート

国際コンポーネント・アセンブリ・エレクトロニクス製造専門見本市
 香港コンベンション&エキシビションセンター
 2019年10月13日～16日

2019年12月13日

重要なビジネスが生まれる electronicAsia 2019
 業界は今後の見通しに保守的な姿勢

Summary

- 同時開催の Hong Kong Electronics Fair (Autumn Edition)とあわせ 67,000 人以上が来場
- 独立調査によると、55%が来年のエレクトロニクス産業の見通しは今年並みと回答



Facts & Data

会 期	2019年10月13日(日)～16日(水) 午前9時30分～午後6時30分(最終日のみ午後5時まで)
会 場	香港コンベンション&エキシビションセンター
主 催	MMI Asia Pte Ltd Hong Kong Trade Development Council(香港貿易發展局)
規 模	4,500 m ² (2018年度5,900 m ²)
出 展 企 業	10カ国から570社(2018年度:11カ国・地域から570社)
来 場 者 総 数	118カ国から17,049人(2018年度:111カ国・地域から23,415人)
主 な 出 展 品	半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッドシステム、センサー、MEMS、プリント基板・その他回路基材、受託製造サービス(EMS)、相互接続技術、ケーブル、スイッチ&キーボード、受動部品、モーター・駆動部、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、電力供給、物流管理・装置製造(半導体・コンポーネント、マイクロシステム技術、プリント基板・その他回路基材、アセンブリ・モジュール・ハイブリッド、電子設計(ED/EDA)検査・計測、総合生産補助・生産サブシステム、生産関連サービス、サービス・出版、ブロードコムチップ、カメラモジュール、チップセット、コネクタ、フラッシュメモリー、センサー、タッチパネル、三次元視覚化テクノロジー、クリーンルームテクノロジー、ディスプレイ組立、ディスプレイ生産財、ディスプレイ製造(フラットパネルディスプレイ/FPD)、太陽電池・モジュール、太陽電池機械・部品製造、僻地太陽光発電システム、集光型太陽発電・集光型太陽熱発電、PVシステム技術・インバーター、トラッキング・マウンティングシステム等
専 用 U R L	www.electronicasia.com (英語)

2019年12月—香港は社会的な混乱にもかかわらず、この地域におけるエレクトロニクスビジネスの中心であり続けている。MMI Asia社と香港貿易発展局(HKTDC)との共催による第23回 electronicAsiaと、同時開催された第39回 HKTDC 香港エレクトロニクスフェア(秋季開催)には、141の国と地域から67,000以上のバイヤーが訪れた。両見本市は、2019年10月13日～16日にわたり、香港コンベンション・エキシビジョンセンターで開催された。

HKTDCの副専務理事 Benjamin Chau氏は「両エレクトロニクス見本市と関連イベントは滞りなく終わった」と述べた。HKTDCとMMI Asia社は、過去何十年の経験を生かし、出展社や来場者にとってビジネスに繋がる安全な環境を確保した。



electronicAsia 2019には17,000人以上のトレードビジターが訪れ、電源、ディスプレイ技術の世界、プリント基板とEMS、キーボードとスイッチ、電子部品、ワイヤレス・センサー技術などの展示場一帯を見て回った。世界をリードするサプライヤー企業による展示により、バイヤーは電子部品に関する最新情報を入手することができた。

韓国 Posco International社は、数あるビジネス活動に、大宇ブランド下の電子製品ビジネスを加えた。エレクトロニクス部門インフラストラクチャー・プラントグループのシニアマネジャーM.K.

Kang氏は「弊社は、現在いくつかの大手電子製品メーカーと協力関係にあって、今回、中国本土から3社、香港から2社、台湾から1社、計6社の新規サプライヤーを発掘した。様々なアプリケーション用センサー部品を調達するために、更なる交渉を行う予定だ」と語った。

バイヤーの顔ぶれも非常に国際的であった。スロバキア共和国から MediaTech Central Europe社の会長兼CEO Bohumil Tonkovic氏と Audio Press Box社のインターナショナルセールスディレクターIvan Samuhel氏が訪れた。Bohumil Tonkovic氏は「MediaTechはオーディオとビジュアル製品において業界をリードするシステムインテグレーターであり、かつディストリビューターである。弊社子会社の Audio Press Box社はAV製品の製造を専門にしている。液晶パネル、難燃性低煙ケーブル、オーディオコンデンサー、変圧器、AIソリューションなどの様々な製品を扱う多くのサプライヤーを、新たに中国本土と香港から発掘した。香港は、今後も、確実に国際的なビジネス拠点であり続けるだろう」と語った。

各出展社はこの世界的な多様性についてそれぞれコメントした。中国 Okystar Technology社のジェネラルマネジャー Erica Teng氏は「見本市の初日から好印象を受けた。そして、ブラジル、ロシア、ドイツなど、様々な国のバイヤーと会えた」と述べた。同社は、マイクロコントローラーボード・モジュールから、0-10V調光モジュールや DALI (Digital Addressable Lighting Interface) ライトコントローラーなどのインテリジェントライトコントロールボード・モジュールを備えたスターターライティングキットやセンサーモジュールまで、幅広く様々な製品を提供している。

出展社は主催者のサポートにも好印象を受けた。ポーランド Transfer Multisort Elektronik社中国事業部のマーケティングマネジャーDagmara Glowacka氏は「主催者は、弊社の事業開発のために、中国大陸やベトナムなどの様々なバイヤーが我々のブースを訪問してくれるよう、ガイドツアーをアレンジしてくれた。お陰で、南アフリカ、ウクライナ、スロバキアの多くのバイヤーとも顔合わせができたし、ある香港のバイヤーが、コネクタ調達のために弊社のポータルサイトに登録してくれる予定となった。そして、宇宙プロジェクトに従事しているロシアのバイヤーも、最高品質認定されたコンポーネントの調達交渉に来てくれた」と語った。

今回初めて出展した台湾 Cheer Time Enterprise社の Hugh Cheng氏は、チリや香港などの様々な国から多くのバイヤーを迎えたことに言及して、「主催者は、弊社の認知度を上げるために、素晴らしいサ

ポートやビジネスマッチングサービス、メディア掲載の機会を与えてくれた」と語った。グループパビリオンは電子部品における台湾の強みを紹介し、台湾新製品発表会は多くの注目を浴びた。

electronicAsia では、「産業用 IoT のブロックチェーン – 次なる大きなものは？」について、国際的に名高い講演者によるインフォメーションフォーラムが主催された。

ブロックチェーン専門家の講演者 Pavel Romanenko 氏は、electronicAsia が産業用 IoT 向けセンサーの開発従事者や、ブロックチェーン技術に関するソリューションを提供する新鋭企業にとってのコネクティビティ・プラットフォームであるとし、「今後、産業用 IoT のブロックチェーンによって、各マシンから有効な接続データを入手し、マシン間の自律的コミュニケーションを更に促進させていくことになる。市場のポテンシャルは非常に大きい。ブロックチェーンや産業用 IoT は数十億ドル規模の市場になると思われる」と述べた。また、彼は、多くの中小企業が、ブロックチェーンの使用事例を構築するために、ドイツの Daimler 社や Siemens 社のような巨大企業に参加することになるだろうと予想しているとし、「スマートシティのアプリケーションにおけるブロックチェーンの効果的な使用法は、多くの人が多くのデータを保存し、その上、ブロックチェーンを、より良いものに、そして、極めて安全になるようトレーニングすることである。大勢の人の理解を得るためには使用事例が必要だ」と付け加えた。Agility 社の CEO Monica King 氏は、「この見本市は、ビジネスを行うためのプラットフォームではなく、ブロックチェーンをより良くするために、ブロックチェーンをトレーニングするためのものでもある。ブロックチェーンの価値はそれを使用することによってのみ生み出されるものだ」と述べた。

業界情報交換のために香港エレクトロニック・フォーラムが追加開催された。香港電子工業会 (The Hong Kong Electronics Industries Association) と職業訓練評議会 (Vocation Training Council) の支援を受けて、Wandelbots 社、Autoated Precision Inc 社、Solomon Systech 社、DeepSky 社などの主要企業から、マイクロエレクトロニクスとアドバンスド・マニュファクチャリングに関する深い知識が提供された。



1,055 の出展社とバイヤーを対象に HKTDC が委託した独立調査によると、エレクトロニクス産業の見通しに関して保守的な見解が大部分を占めた。回答者の 55% は、来年全体の売上は今年並みと予想し、25% は売上が増加、17% は減少すると予測している。

韓国は最も成長が望める最有望の伝統的市場であるとの回答が 62%、台湾がそれに次ぐ 55% であった。新興市場については、中東が最も有望であるとの回答が 80%、続いて、東南アジア諸国連合 (ASEAN) 諸国が 69% という結果となっている。

electronicAsia は、今後もビジネスマッチングやその他サービスを通じて、有意義なビジネスの促進に引き続き取り組んでいく。次回の electronicAsia は、2020 年 10 月 13 日から 16 日、香港コンベンション & エキシビションセンターにて開催予定だ。

詳細情報は、専用ホームページまで：www.electronicasia.com (英語)

資料請求、各種お問合せ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)